

大阪市立

視覚

特別支援学校

タイトル(テーマ)

VoiceOverを設定したら、  
色を識別することができた！

視覚 No 2 号

平成  
27年 3月 19日

対象の児童生徒

小学・中学・高等 部 全学 年

困り感

- ・全盲のため、タッチパネル操作ができない。
- ・全盲のため、色が識別できない。

取り組みの内容・授業の様子等

☆児童・生徒は、個々に手元のiPadやiPhoneのアクセシビリティでVoiceOverを設定することで、色を識別することができる。

- 使用アプリ：「Color Say」
- 準備物：iPadもしくはiPhone 1台
- 事前準備：Wi-Fi等インターネット環境でVoiceOverを設定する。
- 活用方法：同じ素材の3色の糸糸を区別して、織物を一人で仕上げる。

◎実際の活用例：

- ・対象学年…高等部2年生、教科…家庭科
- ・活用後の感想
  - 同じ素材の場合、触感ではわかりにくかったため、迷った時に確認ができてよかった。
  - 人に聞かなくても、判断することができ、作業の効率が上がった。



アプリ  
Color Say



成果と今後の課題

- ・同じ色の靴下ばかり買わなくても、複数の靴下の色の識別ができることで、履き間違いがなくなった。
- ・シャツにあわせたネクタイの組み合わせに応用することができ、おしゃれに興味を持つようになった。
- ・糸状や小さいものの色を識別することになると、別のアプリが必要になる。